

平成30年度予算ふるさとテレワーク推進事業  
**OHYA BASE整備事業**  
 株式会社ビルスタジオ（栃木県宇都宮市）

コンソーシアム名	大谷テレワークコンソーシアム				
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	株式会社ビルスタジオ 宇都宮市 株式会社ダンクソフト 国立大学法人宇都宮大学 有限会社エム・アール・ピー 有限会社ネイチャープラネット 株式会社ファーマーズフォレスト 有限責任事業組合チキカチ計画				
進出企業名	株式会社ダンクソフト、川崎地質、八千代エンジニアリング等				
地方移動者数	従業員：8人	個人：0人	地元ワーカー数	従業員：7人	個人：27人
事業概要	宇都宮市では大谷地域振興方針を策定し、大谷地域の振興に力を入れています。大谷地域は採石場跡地や大谷石建築など魅力ある地域資源が多数あり、宿泊や野外アクティビティが体験できるエリアや、採石場跡地を利用した冷熱産業の創出などに力を入れています。ワークライフバランスの向上への寄与を目的として、同地域にコワーキングスペースを開設することにより非日常の環境で都市圏の仕事ができるような施設を整備します。				



# 子育て・若者世代が住みたい田舎×テレワーク＝栃木市WORK SMART・プロジェクト 栃木県栃木市（栃木県栃木市）

コンソーシアム名	栃木市WORK SMART（ワーク スマート）・プロジェクト コンソーシアム			
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	栃木市、ベビカム株式会社、合同会社ボウルズ、とちぎ子育てネットワーク			
進出企業名	ベビカム株式会社			
地方移動者数	従業員：2人	個人：3人	地元ワーカー数	従業員：0人 個人：12人以上
事業概要	<p>栃木市WORK SMART・プロジェクトでは、子育て世代や若者世代が住みたい田舎ランキングで高評価を得た栃木市において、市内の遊休施設を再利用してテレワークオフィスを整備し、都市部へ約1時間で移動可能という地理的優位性を発揮することで、「ひと」と「しごと」の新たな流れを生み出すとともに、テレワーカー育成事業を併せて実施し、栃木市の課題を踏まえた「新たな働き方の提案」や「都市部への人口流出を抑える新たな雇用の創出」「ママさんテレワーカー育成による子育て世代への経済的支援」の実現を図る。また、テレワークオフィスにコワーキング・スペースを併設し、新たなテレワーカーの発掘・育成とテレワーカーのコミュニティづくりを図ることで、人的なネットワークを形成し、さらに「ひと」と「しごと」の流れを生み出すことを目指すもの。</p>			

